



12月1日は「世界エイズデー」

世界エイズデー（World AIDS Day：12月1日）は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

エイズはどんな病気？

今でもHIV感染者・エイズ患者は増えています！

エイズとは、「HIV（ヒト免疫不全ウイルス）」の感染で引き起こされる「**後天性免疫不全症候群**」を略した言葉です。HIVによってからだの免疫力が低下し、その結果、健康な時には体内に入っても病気を起こさない弱い病原菌にも感染（日和見感染）して、さまざまな症状が出た状態をいいます。

どうやって感染するの？

HIVは、主に血液、精液、膣分泌液を介して感染します。感染経路は、**性行為感染、母子感染、血液感染**の3つに限られます。現在、国内では、性行為による感染が最も多くなっています（88.2%）。

感染力が非常に弱く、学校・職場等での日常生活では感染しません。

（厚生労働省「平成27年エイズ発生動向」より）



予防方法

HIV感染は予防できます！




- ➡ HIVを含む多くの性感染症は性的接触により感染します。若すぎる時期の性的接触は身心にトラブルを起こしやすいので、性的接触をしないという選択肢も考えてみましょう。
- ➡ 相手や自分がHIVに感染していないことが確実で、お互いに他のパートナーがいなければ安全ですが、感染していないかわからないときには、コンドームを正しく使いましょう。
- ➡ 母子感染については、妊娠前又は妊娠中のできるだけ早い時期に感染の有無が確認できれば、出産前後の適切な医療により、子供への感染率を低下させることができます。
- ➡ 血液感染を防ぐためには、血液が手や衣服などについたら流水と石鹸でよく洗い流しましょう。また、麻薬、覚醒剤など注射器の回し打ちをしない、カミソリや歯ブラシ、ピアスなど血液がつく可能性のあるものは共用しないようにしましょう。



検査や相談はどこでできるの？

早期発見ができれば**早期治療ができます！**

HIV検査は、HIVに対する抗体などの有無を調べる検査で「保健所（保健センター）」、「東京都南新宿検査・相談室」などで行っています。相談や検査は、**匿名・無料**です。
HIV抗体ができるまで、6週間から8週間かかると言われていますが、感染の有無を正しく判断するために、**感染が心配される機会があった日から60日以上経ってから検査を受けましょう。**ただし、90日以上としている保健所もありますのでHPをご参照ください。他の性感染症検査も受けられます。